

広報 まつのやま

発行日/平成10年1月10日 編集・発行/松之山町役場総務課

〒942-1406 新潟県東頸城郡松之山町大字松之山1212-2 TEL 02559-6-3131 FAX 02559-6-3515



雪国は楽しいな!!

(葛飾・松之山の子供交流会12/28)

今月号の主な内容

年頭にあって/新年のごあいさつ……………	2～3
世界の蝶展示会、シリーズ里創プラン④……………	4～5
名老百選の集い、12月定例議会……………	6～7
みんなの広場/松高書道部が大活躍ほか……………	8～9
町の話題/郡団基大会、今年は寅年……………	10～11
湯鳥だより、松高通信⑧……………	12～13
お知らせ/年金現況届の町長証明廃止ほか……………	14～15

十二月二十六日から二十九日まで、葛飾区と松之山町の子供交流会がありました。大蔵寺高原での雪遊びでは、小雪が降るなか雪だるまづくりやソリ遊びが行われ、思う存分に雪国の生活を楽しんでいました。

あけまして おめでとうございます



年頭にあたって

町制四十年の節目の年 将来に夢が持たれる町に

松之山町長 佐藤 利幸

あけましておめでとうございます。
新年を迎え二十一世紀に向けて更にまた一歩近づきました。

地方分権推進法が施行されて、今年三年目を迎えることになりましたが、国県市町村は、上下、主従の関係から対等、協力の関係を目指しており、今年は更に地方へ権限委譲が進められるものと思っております。

地方分権推進委員会は三次にわたって勧告が行われましたが、近く第四次の勧告が行われることになっていると聞こえており

ます。国は平成十年度には地方分権推進計画を作成して、総合的、計画的に地方分権を進めようとしております。

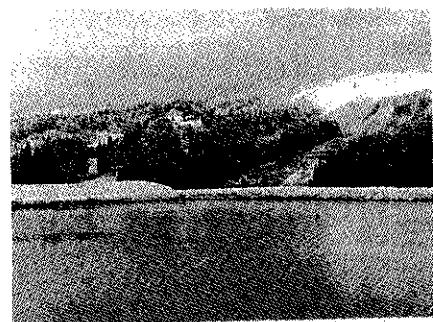
松之山町でも、その受け皿づくりを検討しなければならぬ年になるのではないかと考えられます。

昨年は暖候期の長期予報では雨が多く、冷夏になるのではないかとこの予報でしたが、はずれて高温多湿の夏となって、農作物特に稲作が順調に生育して、良好な作柄となり恵まれた年でありました。

しかしながら、四年続きの豊作、加えてミニマムアクセス米の輸入から、米余り現象が更に強まって、米価の値下がり、転作面積の拡大という状況となつて豊作が喜べないという、農家にとつては誠に厳しい情勢となつてまいりました。

この広報紙が配布されるころには、生産調整の配分面積が示されていると思いますが、中山間地の条件不利地域への傾斜配分を期待し祈っております。

生産調整の強化が、農家の意欲の減退にならないよう農家の





皆さんにお願いいたします。

高齢化社会を迎え、社会福祉の充実がますます重要となってきました。特別養護老人ホームや老人保健施設など在宅介護の充実と併せて、必要度が高まる時代となりましたが、今年社会福祉法人松涛会（仮称）が新設され、松之山町の浦田地区の旧中学校跡地に建設が計画されております。

誘致が成功するよう努力中ですが、この施設が建設されますと、入所者が百名、通所者三十名という規模のものとなるので、その施設の従事者が五十名余り必要となりますので、町民の就業の場が拡大されることと併せて、若い人たちのＵターンやＩターンが期待されるところであります。

なお、食材をはじめ、生活用品などの物流、そして入所者の家族の交流などの波及効果の及ぼす影響も大きく、地域の活性化につながるようになりますので、受け入れ体制づくりに尽力したいと存じます。

今年が町制施行四十周年という節目の年となります。町財政は厳しい時代を迎えましたけれども、将来に夢が持たれる松之山

町にするべく努力したいと、決意を新たにしております。

十日町地域広域圏で進められております「里創プラン」も、今年はいくつかの計画がなされる年になり、一部の事業が実施されることとなりますが、交流人口、定住人口の増加と地域の活性化に向けて、五十年後、百年後に評価されるようなプランの作成の年にならんと考えております。計画策定には町民の広い視野でのご意見をいただきたいことをお願いいたします。

また、安塚高校松之山分校が今年五十周年という記念すべき年にあたり、記念事業実行委員会を組織して記念事業に取り組みますが、松之山町の最高学府である松高が、今後より一層発展できますよう町民各位のますますのご支援をお願い申し上げます。

高度経済成長は終焉して、日本経済は低迷しておりますが、寅年の今年は景気が目に見えて良くなることを祈って、年頭のごあいさついたします。



世界の蝶に

ちよう

驚きと感動

名誉町民
志賀卯助氏寄贈

世界の蝶
コレクション
展示会

十二月五日から七日までの三日間、自然体養村センターで名誉町民の志賀卯助さんから寄贈された「世界の蝶コレクション展示会」が開催され、延べ一、一五〇人の人出でにぎわいました。今回の展示会は、志賀さんから寄贈いただいた世界の蝶を一度、町民の皆さんから見ていただきたいと初公開したものです。期間中は町内の小・中・高校生をはじめ、家族づれなどが会場を訪れ、南米やアフリカ、東南アジアなど色あざやかな蝶の展示に見入っていました。会場を訪れた皆さんの感想を紹介します。

入場者の声

たくさんの蝶に驚き

那須野大湖くん（浦小六年）
ぼくは、志賀さんがあんなにチョウをつかまえたなんてびっくりしました。はねのきれいなチョウやはつばにているはねなどぼくが見たことのないチョウがいっぱい見れてとてもうれしかったです。志賀さんありがとうごさいました。

実際に見るとすごい

高橋加奈さん（松中二年）
とってもすごかった。ムラサキコノハ蝶というチョウは、木の葉のような（閉じると）チョウだというのは聞いたことがあつて、実際みると本当にすごくて、木の葉のように見えてすごかったです。モルフオ蝶という

いうのは、きれいだった。

種類がいっぱい

石塚誠くん（松之山小六年）
チョウのひょうばんを見て、きれいなチョウやかっこいいチョウがいっぱいあつてすごいと思つた。チョウの種類がいっぱいあつてすごいと思つた。

蝶が好きになつた

小野塚真紀さん（松高三年）
正直言つて、蝶は嫌いだったんです。でも、モルフオ蝶料のチョウはきれいでした。だから少し蝶が好きになりました。めずらしい蝶が見れてよかったです。

常設の展示場を

佐藤正徳さん（天水越）
たいへんすばらしく感動しました。一日も早く常設の展示場ができるよう期待します。

夢のような一時

竹内サクさん（豊田）
本当にすばらしかったです。チャンスがありましたら、また拝見したいと思つています。夢のような一時でした。

町づくりに役立てて

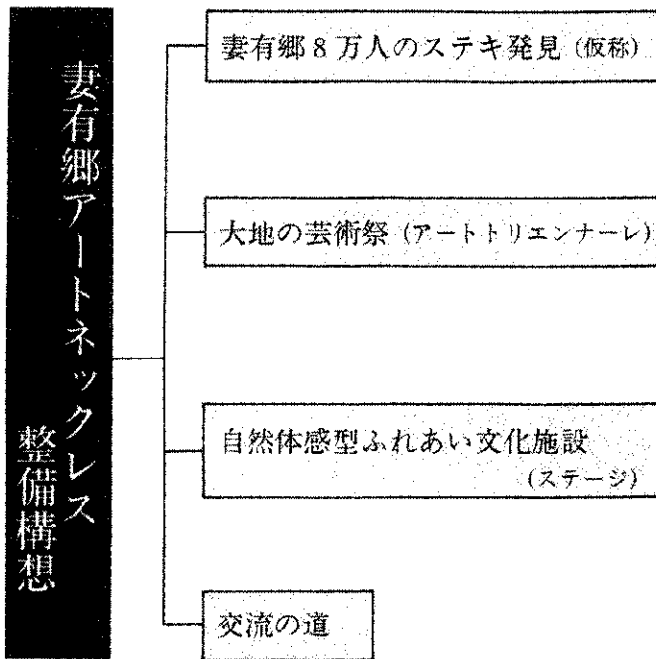
匿名（町内農業）
新聞の掲載欄を拝見しますと、志賀さんの昆虫を愛する優しさとはのぼのとした人間性が目に浮かぶようで心が安らぎます。展示品については、蝶の生息分布、生態、特徴等も整備してお盆やお正月の帰省客にも見せていただけないものでしょうか。

最近では蝶の数も激減しています。やがては、絶滅する昆虫も多いと思われまふ。この展示品も近い将来は、町の大きな財産となり観光の目玉になるものと期待し、町の長期的ビジョンづ

功績やチョウに感動

石井三男さん（大湯町）
平成元年前後に松之山中学校に勤めたころ、志賀さんのことは聞きました。コレクションの会場で直接拝見してその功績や三、八〇〇種のチョウに感動いたしました。世界に誇るまれな標本は町の宝であり、財産だと思いますが、いざればまた展示される折、ぜひ見せていただきたいと思つています。ありがとうございました。

(図1)



シリーズ 里創プラン

妻有郷アートネックレス 整備構想 (その4)

(事務局)

十日町地域広域事務組合企画振興課

前回は、この事業が全員参加で十日町圏域のみんなで作りに行ける事業であることを説明いたしました。

この中で、「妻有郷アートネックレス整備構想」の柱である四つの事業について簡単にふれましたが、今回はそのうちの二つの事業について、詳しく説明いたします。

この構想は、約十年間かけて展開される計画となっています。四つの事業は、左図のとおりです。なお、残りの二つは次回に説明します。

大地の芸術祭 (アートトリエンナーレ)

妻有郷の豊かで美しい自然を舞台にして、世界のトップアーティストによる野外芸術祭を3年ごとに開催します。第1回目は、平成12年(西暦2000年)に予定されています。広域組織で取り組まれる野外芸術祭は、日本では初めての試みとなります。

「大地の芸術祭」に参加するアーティストは、妻有の自然や生態環境を活かし、環境と景観を整え、人間と自然の新たな交流を生みだすような芸術作品を創造することを目指しています。これにより、この地域が持っている大自然の魅力と大切さを再認識し、自然豊かな妻有郷のイメージを世界に向けて発信して行きます。

「大地の芸術祭」は、「ステージ」や「交流の道」などの整備事業と有機的な連携のもとに実施されます。また、芸術祭の開催は、交流人口の増加を図り、広域の景観や環境の質を高めるとともに、国際交流や地域の話づくり、芸術と地場産業のタイアップ、新しい産業の創造、情操教育の場の創出などさまざまな展開の可能性を持っています。

妻有郷8万人の ステキ発見 (仮称)

この事業では、妻有郷の魅力を再発見するため、一般公募による写真を中心としたコンテストを平成10年度に実施します。妻有郷の歴史や風土、文化や自然の美しさ・魅力をあらためて見直す機会を通じて、私たち自身がふるさとへの愛着や誇りを再認識し、私たち全員で「妻有のステキ」を世界に向けてアピールすることを目的としています。

具体的には、地域の自然、風土、文化、風習、日常生活などの中からさまざまな魅力を発見してコンテストに応募してもらいます。また、地域のさまざまな物産や資源をアイデア豊かな賞品として用意することで、妻有の魅力を内外に発信して行きます。

審査には写真の専門家をはじめ、妻有の応援団として各分野で結集した著名人が行います。コンテストへの応募を通じて来訪者の増加が期待できるとともに、発見されたステキは地域の財産目録として活用して行きます。

「ステキ発見」は、「大地の芸術祭」を圏域の全員が一体となって実施するための準備プログラムでもあり、イベント運営のノウハウを蓄えるとともに、お互いの理解や結束力、連帯感の強化を図るものとなります。

名老百選の集い



参加者全員で記念撮影も行われました

十一月十九日、「名老百選の集い」が植木屋旅館で開催されました。松之山の歴史を支えてきた文化や技術を後世に残して行くとその道のエキスパートを選ぶために制定された名老百選も十年目。平成九年度は新たに十三名が認定されました。集いでは、佐藤利幸町長から出席した新規認定者一人ひとりに認定証が手渡され、「健康に留意され、より一層得意の分野で若い人の指導にあたってほしい」とあいさつがありました。新たに認定された方は、次のとおりです。

新規認定者の紹介

(敬称略)

- ▽布施外二(松之山・並木や)
- またたび栽培
- ▽山岸敬三郎(新山・天上原)
- 地域活性化のために貢献
- ▽滝沢きく江(松之山・猫沢)
- 野鳥こけし創作
- ▽佐藤トミエ(松之山・善助)
- 手芸
- ▽樋口真一(湯山・与ぜん)
- 園芸
- ▽村山幸蔵(橋詰・上の山)
- わら工品
- ▽小野塚義教(上鰻池・林)
- 竹細工(ザル)
- ▽小野塚辰太郎(東川・山木や)
- 農業技術に貢献
- ▽小林外吉(上鰻池・中道)
- わら工品(しめ縄)
- ▽高橋平吉(天水島・庄兵衛)
- 地域活性化のために貢献
- ▽本山スイ(豊田・切通)
- 衣食文化(麻子)
- ▽福原益太郎(坂下・セギ)
- 歌舞伎
- ▽高橋ミオル(大荒戸・大杉)
- わら工品

※今年度十三名が新規認定され、十一月一日現在で五十名が名老百選として認定されています。

12月定例議会

平成九年第七回の町議会定例会が十二月十八日と十九日の二日間開催され、条例の制定や一部改正、平成九年度補正予算などについて審議されました。

また、初日の一般質問の前に追加日程として、議会運営委員会報告や「飲酒運転根絶の宣誓決議について」などが行われました。

一般質問では、六名の議員が「財政構造改革について」「介護保険について」など二十二項目について質問しました。飲酒運転根絶の宣誓決議書や一般質問など詳しい内容は「議会だより」で紹介されます。



今回審議された補正予算や条例の制定・一部改正などは、すべて原案どおり可決されました。条例の制定と一部改正については次のとおりです。

【条例関係】

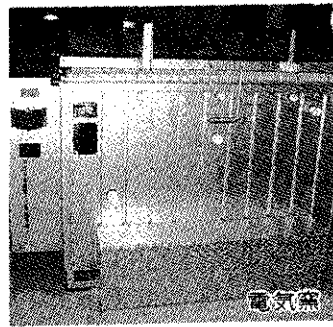
- ▽松之山町下川手集会施設の設置及び管理に関する条例の制定
- ▽松之山町住宅管理条例の制定
- ▽松之山町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ▽松之山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ▽松之山町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例
- ▽松之山町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ▽松之山町高齢者等肉用牛飼育モデル事業基金条例を廃止する条例

自治宝くじ助成事業で

電気窯と土練機を購入

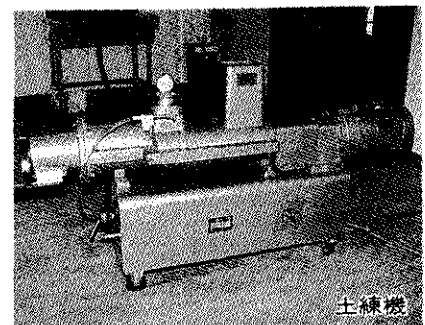
町では、このたび平成九年度自治宝くじ助成事業を受けて、陶芸用の電気窯一基と土練機一台を購入しました。

町公民館では、平成八年度か



ら陶芸教室を開催していますが、受講される方も多くまた、本格的な陶芸を行うには現在ある窯では無理があるため、電気窯の購入となったものです。

また専門家による調査の結果から、当町浦田の月池地内の土が陶芸用に使えると判明。将来は、陶芸教室だけでなく町の産業にまで発展させたいことから、地元の土を使うようにと土練機も合わせて整備されました。購入された電気窯は、さっそく高齢者教室で使用。お年寄り



の皆さんは、焼き上がった作品に満足そうで、陶芸の楽しさを満喫していました。

この電気窯にはマイコン焼成機能がついており、教室の皆さんは使いやすさと便利さに感心していました。

国民年金、厚生年金保険及び船員保険から支給される老齢年金を受給しているみなさんに、社会保険庁から「公的年金等の源泉徴収票」が、平成十年一月三十一日までに交付されます。

平成九年の一年間に支払われた年金の

知って得する年金知識

源泉徴収票が届きます

総額、源泉徴収税額、控除の内容等が記載されています。

老齢年金は、所得税法第三十五条の規定により、「雑所得」として取扱われています。

源泉徴収される人は、原則として所得税の確定申告をする必要はないことになっていますが、年金以外に給与等の所得がある人などが、確定申告をする必要があるときに、この「公的年金等の源泉徴収

票」は添付書類として必要になります。

なお、老齢年金から所得税が源泉徴収されたか否かには関係なく、老齢年金を受給しているみなさんの全員に「公的年金等の源泉徴収票」は送付されます。

国民年金等についての問い合わせは、役場総務課住民係まで ☎ 613131 (内線54)

東京事務所

だより

広告の効果

No.45

現在私たちは、広告に取り囲まれて生活しています。

テレビ・ラジオのCM、新聞・雑誌広告、屋外看板、折り込みチラシ、駅のポスター掲示、電車の中刷り等、情報社会にあふれています。

同じ性能で、同じ価格であれば、広告により知名度が高くイメージの良い方が明らかに売れます。

そのことは、広告ランキング一位が花王であることでも分かります。洗剤というありふれた商品の中から花王の製品を選んで買ってもらうために広告に多額の費用をかけています。

日本全体の広告費は総額五兆円、人口一人当たり三万五千円になり、それは当然価格に反映されています。

広告イメージがいかに大切かは、最近ではイチロー効果と言われた日産自動車による、オリックスのイチロー選手起用の広告で分かります。

そのことにより日産の経営が

立ち直り、イチローに十億円の出演料を払っても安い買い物だったと言われたくらいです。

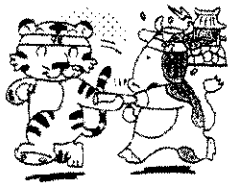
普段でも、何気なく口ずさむ歌がCMから流れてくる音楽だったりします。

私たちは知らないうちに広告に生活を左右されているようです。

松之山温泉の知名度は、まだまだすべての人が知っているところまでいっていません。宣伝に費用をかけられない現状では、松之山町に來られた人全てに満足いただいて、口コミで評判が広がっていくしか無いのかもしれない。

しかし、これからは効果のある広告のあり方を検討していくことも必要なのではないかと思えます。

東京事務所 保坂



このコーナーでは、みなさんからの
ご意見やお便りをお待ちしています。
団体の紹介や写真、絵画なども大歓迎。
締め切りは、毎月20日です。総務課行
政係広報担当まで ☎ 6-3131(内線25)

みんなの 広 場



福祉用具くふうコンテスト
高橋寛一さんの作品が奨励賞
県社会福祉協議会が主催した
「第六回福祉用具くふうコンテ
スト」で、高橋寛一さん(松田)
の作品が奨励賞を受賞しました。
コンテストは、障害をもつ方
方がより快適な日常生活や介護
者の負担軽減を図るため、便利
で使いやすさを考えるふうした
作品募集で、高橋さんが受賞し
た作品はかかとを改良した履き
やすい「ズック」です。麻痺が
ある場合にかかとのところがな
かなか履きづらいため、かかと



かかとを改良した「ズック」

の部分を開くことで、スムーズ
に足が入り、自分で履くことが
できるというものです。
高橋さんはお勤め先の老人ホ
ームで、デイサービスを利用し
ているお年寄りが靴を履くとき
に苦労しているのを見て考えつ
いたそうです。「入賞は全く予
期していませんでした。利用す
る方から喜んでもらえれば」と
受賞の喜びを話していました。

わが家の人気者 ③



まさき
将之くん登場 (2歳11カ月)

南雲克美・美恵子さん長男
(西之前・もんにん)

今月は将之くんの登場です。
家では「マーくん」と呼ばれて
います。お気に入りのおもちゃ
はウンボ。大きな機械が大好き
で、これから冬の楽しみと言え
ば、早朝の除雪車に手を振ること。
「ライトをつけて雪を押す
タイヤショベルは、カッコイ
イ!」とマーくん。夏は大きな
機械がある工事現場が大のお気
に入りとのこと。

また、お姉ちゃんのマネが大好きで、自分を「あたし」とい
っているそうです。「甘えん坊
だけど、昨年の春に妹が生まれ、
ちょっぴり甘えたいのも我慢。
でも、怪獣のマネをしてあやし
て(?)くれます。」とお母さん。
そんな、元気いっぱい南雲家
の人気者です。

【お母さんから一言】

小さな子やお友だちにはやさ
しくしてあげてね。

まつのやま文芸

俳句

母を待つ姉妹仲良く雪だるま
子等の顔円く集ひて聖菓切る
明日もまた小春日和となる星座
売り出しの小さき当たり年の暮
静かさや鏡ヶ池の冬庭園
ゆつたりと回る鶯や小春空

松之山(南田) 高沢 秀女
松之山(松屋) 佐藤 節女
松之山(高松屋) 井部 朝女

川柳

すまないがたった一人のバス降りる
相槌も時々ずれて老の耳
似た声が途中で父どかわります
柳友作品紹介
まどまらぬ思案に時計追って来る
へそくりでなくては貯めた気がしない
草刈つて南瓜を一つ拾って来る

あき子
藤田
遠山

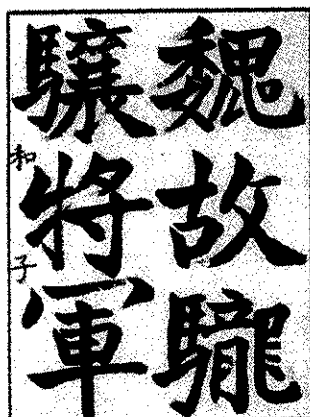
第13回全高書展で

松高書道部が大活躍

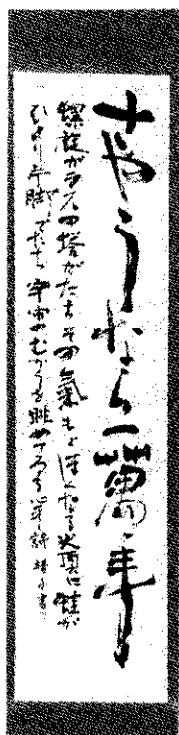
平成九年九月一日から十九日まで平成九年第十三回全日本高等学校書道公募展（主催・日本書道専門学校）が行われ、安塚高校松之山分校書道部の小口和子さん（一年）が特別賞の日本書道専門学校賞、また相澤靖子さん（二年）が入賞の特選を受賞しました。

今年の公募展には、北は北海道から南は鹿児島まで全国各地

へ日本書道専門学校賞



〈特選〉



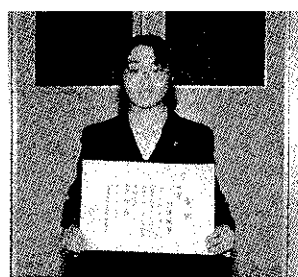
小口和子さん（1年）

の高校から六、四二四点の出品があり、二十五点の特別賞などが選ばれました。特別賞受賞はハイレベルのため至難の業と賞

われていますが、小口和子さんは十五点以内に入る日本書道専門学校賞を受賞したものです。

十一月十五日・十六日に日本書道専門学校で特別賞二十五点、特選百点の受賞作品が展示され、また十五日には表彰式が行われ二人が出席しました。

今年八月には、鳥取県で全国高等学校総合文化祭書道展が開催されますが、相澤靖子さんが新潟県の推薦を受けておりそこへ出品することになっています。今年も松之山分校書道部の活躍が期待されます。このたびの受賞おめでとうございます。



相澤靖子さん（2年）

社会参加の推進活動で

「小さな親切」実行章が贈呈

第四一回「小さな親切」実行章に町老人クラブ連合会（会長小野塚一男）と松之山郵便局ゆとりの会（会長関谷宗一）、小堺春吉さん（豊田）が受賞。

十二月二十五日安塚警察署でその伝達式が行われ、酒田博署長から賞状が伝達されました。

小さな親切実行章は、社団法人「小さな親切」運動本部が昭和三十九年から実施。「困っているとき思いがけなく親切を受けた」などそんな心あたたまる親切を実行した方に心から感謝し、その行為に敬意を表すために贈呈されているものです。



（左から）小堺さん、村山さん、小野塚さん

この実行章の特徴はどれもが推薦でき、どれもが受賞できるという点です。今回の受賞は当松之山町が昨年度から警察庁の長寿社会パイロット地区指定を受け活動していることなどから、安塚警察署長の推薦により受賞となりました。

それぞれの活動内容は、町老人クラブ連合会が犯罪・事故の被害防止活動や道路の花植え活動など、松之山郵便局ゆとりの会は外務係を中心に町内の一人暮らし老人への声かけ運動や買い物電話サービス、また小堺さんは四十年間の出稼で覚えた技術を生かし、平成三年から地区老人会の忘年会などで手打ちラーメンを作り会員に提供している活動が認められたものです。また、昨年一月には同じく安塚警察署長の推薦で松之山中学校生徒会が受賞しています。伝達式では、「社会参加を推進してきたお手本で表彰されました。これからも積極的に活動して行っている」とお祝いのことがばが贈られました。

まちの話題

碁盤の上で熱戦

郡囲碁大会開催

十一月三十日、自然休養村センターで郡囲碁大会が開催され、郡内各町村の三十五人が碁盤の上で熱戦を繰り広げました。成績は次のとおりです。(敬称略)

◆Aブロック(五、二段) 優勝 村山悦夫(松之山町) 二位 長尾晃雄(安塚町) 三位 石塚幸貞(松之山町) ◆Bブロック(初段) 一位 優勝 丸山恵一(松代町) 二位 小山正明(大島村) 三位 南雲晴夫(松之山町) ◆Cブロック(二、四級) 優勝 植木直栄(松代町) 二位 小野塚耕三(松之山之町) 三位 高澤哲治(同) ◆Dブロック(五、七級) 優勝 小堀喜一(松代町) 二位 丸山光治(安塚町) 三位 高橋誠治(松之山町)



活気ある若い力を地元企業に

高校への企業説明会

毎年、安塚高校松之山分校の生徒を対象に実施している「地元企業説明会」が十二月六日、おふくろ館で開催されました。卒業後は、地元の企業に就職してもらおうと始められた企業説明会も平成九年で六年目。春は三年生、秋は二年生を対象に実施されているものです。この日は午前中に企業訪問、午後から説明が行われました。企業からは「活気ある若い力を求める」また、Uターン経験者からは「外から松之山を見ると本當の良さがわかる」などの説明があり、生徒たちは真剣に聞き入っていました。

シーズン中の安全と入込み客の増加を

スキー場で安全祈願祭

十二月十二日、松之山温泉スキー場でシーズン中の安全と大勢のスキーヤーでにぎわうこと、また雪に恵まれることを祈って安全祈願祭が行われました。

松之山温泉スキー場は、昨シーズンは小雪でオープンが遅れ、スキー場開設以来、毎年増加していた入込み客も大幅に減少してしまいました。

この日、スキー場関係者にとつては朝から恵みの雪。ゲレンデには約十五センチほどの積雪となりました。出席した佐藤利幸町長やスキー場関係者は、十分な積雪と一日も早いオープンを祈願していました。



特産「ししとう」は県内一の産地

共販体制反省会が開催

十二月十日、JAしぶみが主催する「ししとう共販体制反省検討会」が当町で開催されました。ししとうの共販が始まったのは平成元年。共販は、郡内六町村で栽培しているししとうをJAしぶみが窓口となって市場に出荷することで産地化し、有利販売を行っているものです。

郡内の生産者数は一二五人、総面積は九二・二ヘクタールで、県内一の産地です。この日は、生産者約九十人が出席。優秀生産者六人への表彰状の授与や新年度に向けての技術対策などが話し合われました。当町では十六人が栽培、出荷量は三、四一六・三キログラムです。表彰式では、湯山の樋口文吉さんが優秀賞で表彰されました。



年 寅 は 年 今

今年(ことし)は寅年。虎は千支(ちんし)の三番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。ウスリー(ロシアと中国の国境地帯)、中国大陸朝鮮半島、東南アジアなど、温帯から熱帯地方にかけて広く生息していますが、日本列島には野生の虎はいません。

日本の文献に初めて虎が登場したのは『日本書紀』で、欽明天皇の六年(五四五年)に、百済で虎退治をして、その皮を日本に持ち帰った人がいるということが記されています。生きた虎が日本にきたのは寛平二(八九〇年)といわれ、その後、江戸時代には、虎は見せ物として江戸・大坂(大阪)などを回っていたようです。

多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しかし、虎はことわざなどによく登場し昔から親しまれています。だれでも知っている「虎の子」は、大切なもの、秘蔵のものとは、

いうこと。「虎穴(こけつ)に入らずんば虎児(こじ)を得ず」も、虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ(虎の住んでいる穴に入らなければ)成功は得られないということです。

「虎刈り」は、丸刈りがはやりなくなつたので、最近(さいきん)はあまり見かけません。「虎の巻」は、もともとは兵法の秘伝を記した書物のこと。以前は、学生さんなどが参考書などをこう呼んだものですが、この言葉もはやらなくなりました。

また、虎は強いもの、恐ろしいもののたとえにもよく使われます。「虎視眈眈(こしかんかん)」「虎の威をかる狐(きつ)」「虎の尾を踏む」「虎は千里(ちんり)往(む)つて千里(ちんり)還(かへ)る」「虎は飢えても死肉(しにく)を食(く)わず」「虎は死して皮(かわ)を残(のこ)す」など、枚挙(まいきょ)にいとまがありません。ただし、酔(よ)つ払いの大トラ(おおいトラ)はいただけません。

ところで、今年の年賀切手の意匠(いしょう)の題材(たいがい)は、福島県(ふくしまけん)の郷土玩具(きょうどわぎ)「三春張(さんしんちやう)り子の虎(こ)」です。これは、郡山市(ぐんやまし)にある通称「デコ

屋敷(やせき)」で作られている張り子の玩具(わぎ)です。デコというのは、木(き)愚(ぐ)のこと、木彫(ぼくちやう)りのデコに紙(かみ)を張(ちやう)つて張り子(かみこ)を作ります。職人(しやくじん)さんの仕事場(しごとば)が集(あ)まつているのがデコ屋敷(やせき)で、ここで作られている「三春駒(さんしんこま)」も、昭和二十九年(しやわにじゅうきゅうねん)の第一回(だいいちかい)の年賀切手(ねんがきりて)に採用(さいよう)されました。

三春張(さんしんちやう)り子の虎(こ)は「腰高虎(こしだかこ)」といって、腰(こし)を高く上げて威嚇(いかく)している威勢(いせい)のいい姿(すがた)が特徴(とくごう)です。でも、見たところ、とてもかわいい感じ(かんじ)の虎(こ)です。製作者(せいさくしや)の一人(ひとり)はこう話(わ)しています。

「このデコは江戸時代(えどじだい)のものが残(のこ)っていて、新しいものもその形(かたち)を踏襲(ふくしゆ)しています。江戸時代(えどじだい)には虎(こ)を見た人(ひと)はほとんどいなかった(い)ので、猫(ねこ)がモデル(もで)になつた(な)たのかもしれない(かもしれない)」。いずれにしても、昨(け)年は明るい話題(わたり)の少ない年(とし)でした。今年(ことし)は虎(こ)のように、威勢(いせい)よく頑張り(ごんがり)たいものですね。





ゆとりくん

ゆとり 湯鳥だより

No.44 公民館 ☎ 6-2265

事業案内

1/13
2/12

ニコニコ教室

一月のニコニコ教室は、簡単に作れる遊具を使って親子で楽しく遊びます。

▼期日 1月21日(水)

▼時間 午前9時～午前11時

▼場所 自然休養村センター

第一回新潟県スキーマスターズ大会

近年、中高年者の健康増進となるスポーツ活動の高まりはスキーにおいても同様でありますことから、次の大会が松之山温泉スキー場で開催されます。

▼期日 1月26日(月)～27日(火)

※26日は受付、27日は競技

▼会場 松之山温泉スキー場

▼種目 大回転競技(男子、女子) 2本制

▼参加者 35歳以上の男子、女子



第48回 松之山スキー競技大会

白銀の世界に熱い戦いが繰り広げられます。松之山町からも多数の選手が参加、大活躍が期待されますのでご声援ください。

▼期日 2月7日(土)～8日(日)

※7日開会式、8日競技

▼時間 午前9時～午後3時30分

▼会場 アルペンⅡ松之山温泉スキー場、クロカンⅡ町民グラウンド

スキー講習会及び パッチテスト

松之山温泉スキー場のスキー学校では、スキー講習並びにパッチテストを行っています。

あなたもスキー講習やパッチテストに挑戦してみませんか。

▼スキー講習とパッチテスト

1回目 1月24日・25日

2回目 2月14日・15日

3回目 3月7日・8日

▼申し込み・問い合わせ先 松之山温泉スキー学校

☎ 6-2194

初夢

初夢は古郷を見て涙哉

一案(寛政句帳)

初夢は正月に初めて見る夢といふことは、だれでも知っています。

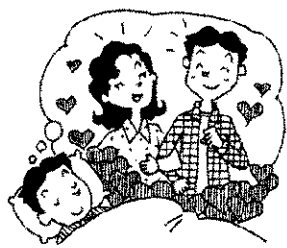
さて、あなたは初夢をいつ見ますか。元旦の朝ですか。二日の朝ですか。これ、実は時代により、また家によっても違っているようです。

室町時代には、元旦の暁の夢だったとか、江戸時代は二日の朝の夢だったともいわれています。

す。江戸の商家などでは、大晦日は除夜の鐘まで起きているので、二日の夜の夢が初夢だったのでしょうか。また、古くは立春の朝の夢を初夢としたようです。

初夢合わせなどといって、初夢で吉兆を占う風習は古くからあったようです。江戸では宝船売りが、いい初夢を見るようにと宝船の絵を売り歩いていました。渡枕といって夢を食うとされる動物——ばくの絵を枕の下に置いて悪夢を食わせる風習もありました。

インターネットで情報のやりとりをする現代ですが、一方不透明の時代でもあるので、若者の間で占いが流行とか。若者も初夢占いをするのでしょうか。



新刊図書 の紹介



女たちのジハード 篠田節子
玄界灘 白石一郎
家族「外」家族 椎名篤子
毛利元就(下) 内館牧子
坊主町長の忙中閑記 近藤浄太

僕の一輪車は雲の上

山田理作・末崎茂樹絵

松高通信

No. 8

■十一月号でお知らせした県高校駅伝大会の結果は五十二チーム中、二十一位でした。来年度は、一・二年生四名が残りますし、新入生による選手の補強もある、上位入賞を期待してください。

また、バドミントン上越地区大会では一年生の小野塚珠恵が単でベスト十六に入り、複でも小野塚珠恵・相澤美代子組がベスト十六でした。高校に入ってから始めた競技ですが、上位連出に気をよくし、練習に一段と熱が入って頑張っています。

■三年生の進路では、現在、就

職内定が五名、専門学校十一名、大学短大は四名が決定しました。大学と短大は推薦入学です。

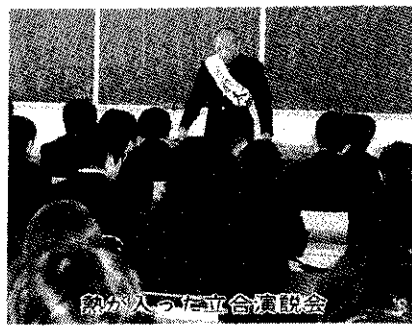
推薦入学は高校の成績が大切ですが、小論文や口頭試問といった実力を試す試験が必ずあり、倍率も高く、合格は簡単ではありません。また、面接ではさまざまな角度から鋭い質問があります。生徒は念入りの準備をして合格にこぎつけました。また、就職・専門学校も時代を反映して厳しい状況にありましたが、生徒の努力が光ります。

残った生徒は合格に向け、正月返上で最後の努力を傾注します。

■生徒会役員の改選があり、会長に佐藤太也、副会長に小野塚稔・高橋妙子、執行部に高橋貴

大、滝沢佑介の諸君が選出されました。立合演説会では五十周年に向け生徒会を盛り上げていこうという熱意の中にもユーモアのセンスを忘れない弁舌に、さすが高校生だと実感した一年生も多かったのではないのでしょうか。活躍に期待しましょう。

松高教頭 藤木



熱が入った立合演説会

ご協力ありがとうございました 赤い羽根共同募金 歳末たすけあい運動

今年も「赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動」に、町民の皆さんからたくさんのお金や品物をご寄付いただき、ありがとうございました。

タオル、そして老人会からご寄付いただいたお正月用のしめ飾りを持参し、各施設への歳末慰問を行いました。五日の慰問では女性ネットワーク、老人会、民生委員の各代表者も参加しました。慰問先では、品物の贈呈や当町出身の入所者との懇談も行われたいへん喜ばれました。なお、募金いただいた内訳は次のとおりです。

特に女性ネットワーク

- ・戸別募金 七九八、二二四円
- ・学校募金 三三、六八四円
- ・その他 一一一、七七五円
- ◇歳末たすけあい募金 一五〇、〇〇〇円

◆募金の合計

- 一、〇九三、六八三円

松之山町社会福祉協議会

暮らしの

ワンポイント

比較的日持ちする食品でも、上手に保存しないと風味が落ちたり変質したりします。買い置きは、食品の特性に合う方法で温度と湿度を管理してください。

ノリは外気に触れていると変質します。開封後は、乾燥剤と一緒に茶筒かタッパに入れて保存してください。

お茶は、茶筒に移し替えてしまうより、アルミパックに入れたままに

買い置き食品の 保存と再生

しておく方が湿気を防げます。使うときには必要を分だけ小出しにし、残りはパックの口を折り、輪ゴムやクリップをかけて密封しておきましょう。

よう。しけつたり香りが飛んでしまった緑茶は、フライパンでカラ炒りすれば、おいしいほうじ茶に生まれ変わります。

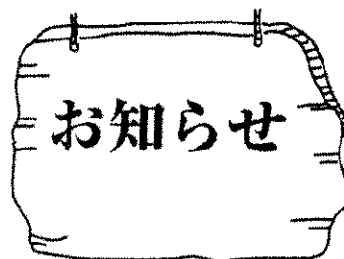
パック入りのおもちは、開封するとすぐに表面がひび割れて、固くなってしまう。そんなときはベンチで小さく砕き、天日に干してから乾燥材と一緒に缶などに入れて保存します。油で揚げた塩をふれば、おいしいおやつになります。

塩を長持ちさせたいときは、容器の中に炒ったコーヒード豆を一二粒入れておくと、湿気を防いでくれます。また、米びつには生の唐辛子を

入れると、虫よけに効果があります。ただし、保存技術を過信するのは禁物です。



緑茶



松之山町役場 ☎ 6-3131

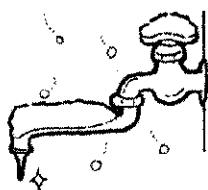
水道の冬仕度も 忘れないで！

水道課水道係

皆さんのご家庭では、水道の冬支度お済みでしょうか。新しい年を迎え、冬本番となりました。

これからの時期は気温がマイナス四℃以下になると、給水管や水道メーター、蛇口が凍って水が出なくなり、破裂したり水道の凍結事故が多くなります。

寒さは水道の大敵です。気象通報に注意して、異常低温注意報などがでたときは、特に凍結



に気をつけましょう。

【凍結を防ぐにはこんな方法で】

▽給水管や蛇口には、布切れや毛布、あるいは専用の保温剤を巻き、ぬれないように上からビニールテープをすき間なく巻いてください。

▽水抜き栓・凍結栓を使用しているご家庭では、お休み前や家庭を留守にするとき、忘れずに水抜きをするようにしましょう。

年金現況届にかかる 町長の証明が廃止に

総務課住民係

国民年金及び厚生年金等の年金を受給している方は、誕生月に年一回の「現況届」を提出いただいています。その現況届には、市町村長の証明を受けることになっていましたが、年金受給者の負担の軽減などを図ることから、平成10年1月以降に提出することとなる現況届より、市町村長の証明を受ける必要がなくなりました。

なお、特別支給の老齢厚生年金の支給を受けている方が、65歳到達時に提出する「国民年金・厚生年金保険老齢給付裁定請求書（はがき形式）」は、いまま

平成10年2月2日から 郵便番号が 7ケタになります

松之山郵便局

松之山町の新郵便番号

町域名	新郵便番号	町 域 名	新郵便番号
松之山	942-1406	湯 山	942-1431
光 間	942-1405	湯 本	942-1432
兎 口	942-1407	天 水 越	942-1435
新 山	942-1404	天 水 島	942-1434
水 梨	942-1401	中 坪	942-1433
小 谷	942-1402	藤 倉	942-1429
大荒戸	942-1403	中 尾	942-1428
松 口	942-1411	東 川	942-1427
三 桶	942-1412	上 鯉 池	942-1426
沢 口	942-1413	下 鯉 池	942-1425
古 戸	942-1414	五子平	942-1421
観音寺	942-1415	坪 野	942-1422
坂 下	942-1416	赤 倉	942-1423
猪之名	942-1417	東 山	942-1424
藤内名	942-1418	浦 田	942-1342
橋 詰	942-1419	黒 倉	942-1341

全国都市緑化フェア 講師を募集します

にいがたフェア実行委

第十五回全国都市緑化にいがたフェアでは、「花」や「緑」の文化に興味のある方や、花緑に関する新たな技術や知識を習得し、その楽しさを深めようとする人を対象に体験講座などの体験型催事を実施します。

実行委員会事務局では、この「花と緑の体験型催事」に参加していただく講師を募集してい

ます。

▽グリーン&フラワーワークシ

ョップ押し花等、花やグリー

ンを使った作品製作の教室

▽ガーデニングスクールコン

テナガーデン、生け垣作り等

▽ガーデニング技術の教室

▽ネイチャースクール創作教

室、環境学習等、子供を対象

としたアウトドアの楽しみ方

を学べる教室

申し込み書は市役所・役場に

あります。申し込み締め切りは、

平成10年1月31日です。

詳しくは、全国都市緑化に

いがたフェア実行委員会事務局へ

☎ 025-285-5511

(内線3354) 本間、松田

冬道を安全に走行しましょう

「雪道は滑る」ということを認識し、路面状況に応じた安全な速度で走行しましょう。



1月の
交通安全
キャンペーン

火災予防標語の募集

今年こそ火災のない街に

十日町地域消防本部では、火災のない街を願い、防火の関心が高まるような火災予防標語を広く募集いたします。皆さんのアイデアで、どんどん応募ください。

中里村、松代町、松之山町のいずれかに在住する方

3、応募方法

未発表の作品一人1点といえます。一般作品（中学生以上）と小学生以下の作品を分けて募集いたします。

官製はがきに標語及び住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記のうえ応募ください。

4、送付先

〒948-0003 十日町市大字北新田1番地10

十日町地域消防本部予防課

5、応募締め切り

平成10年2月10日（火）

6、表彰

2、応募資格

十日町市、川西町、津南町、

▽樋口一様（中尾）
もち米 三〇キログラム
松之山町社会福祉協議会

▽松之山町商工会婦人部様
金 五三、五七〇円也
▽松之山ライオンズクラブ様
金 三〇、〇〇〇円也

善意に感謝します

町社会福祉協議会にご寄付がありました。町の在宅福祉の向上のために活用させていただきます。ありがとうございます。

7、問い合わせ先

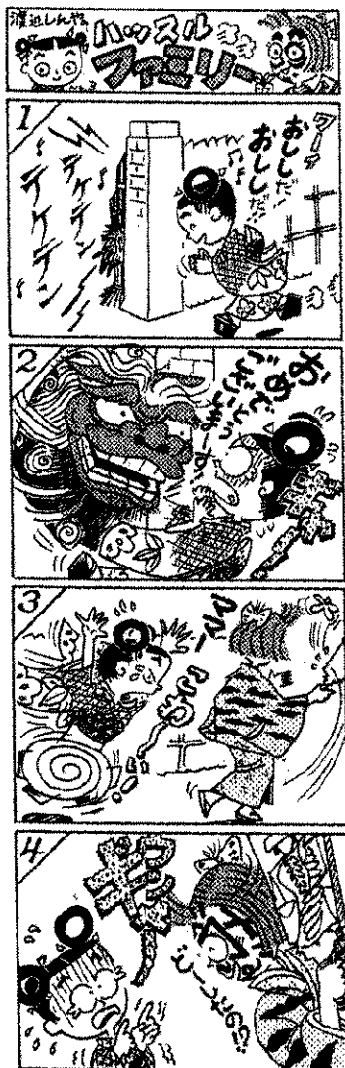
十日町地域消防本部予防課

予防係 ☎0257-1571

優秀賞1点

小学生の部（最優秀賞1点、優秀賞1点）

一般の部（最優秀賞1点、優秀賞1点）



冬期間の路上駐車は みんなの迷惑になります！ 道路除雪に

ご協力をお願いします

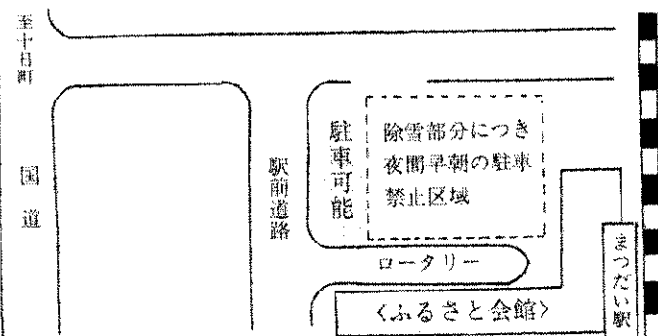
いよいよ雪のシーズンです。冬期間の道路確保は、私たちにとって、生活して行くうえで重要な課題です。しかし、路上駐車されていると除雪車が出動しても、除雪がスムーズにできず、道路の確保ができません。路上駐車は絶対にしないようにご協力をお願いします。



松代町ふるさと会館前 駐車場を利用の皆さんへ

ほくほく線「まつだい駅」を利用される方で、松代町ふるさと会館前の駐車場を利用の場合は、除雪の支障にならないように次の駐車場所に駐車くださるようお願いいたします。

詳しいことは、松代町振興課（ふるさと会館内3階）☎7-3000までお問い合わせください。



戸籍の窓

おめでた(出生)

彩ちゃん 渡邊政信・賀子さん
東 山(谷)

おくやみ(死亡)

山岸 キイさん 89歳 光 間(村上)
小野塚タツさん 91歳 東 川(上屋敷)
※12月1日から12月26日までの届出分です。
※広報に載せてほしくない方は、届出のときに窓口にお話ください。

町の動き

12月26日現在

総人口 3,364人(+4)

男 1,641人(+2)

女 1,723人(+2)

世帯数 1,146戸(+3)

()内は前月との比較

町民憲章

昭和53年7月制定

わたしたちは松之山町民です。郷土を愛し、
みんなでよりよい町づくりをしよう。

町民の合言葉

- 1、美しい緑と雪の中で
心豊かな人になろう
- 1、ブナの梢が触れ合うように
連帯の心をもとう
- 1、湧きいづる湧泉のように
創造の力を高めよう

温泉定休日

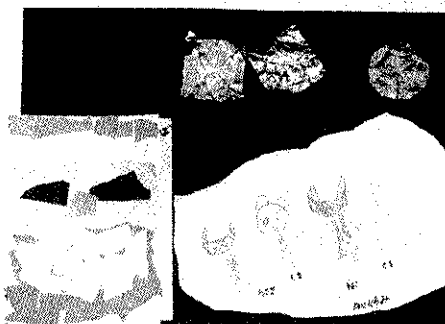
温泉センター

1月 8・22・29

2月 5・12・19・26

翠の湯は冬期間休業です。

ぼくの絵 わたしの絵 松之山保育所



<うさぎ組>

村山わか葉ちゃん
(古戸・新屋)

サンタクロースとプレゼント

サンタのおじさんが、大きなふくろにわたしの好きな
うさぎ、くま、ねこのぬいぐるみをもってきてくれたよ



<うさぎ組>

小見賢太くん
(黒倉・中屋敷)



サンタクロースとプレゼント

ほしの夜、サンタのおじさんがぼくの好きな
ポケモンのカードをいっぱいもってきてくれたよ

こよみ

◆12月のできごと

- 1日 保安委員会議
- 8日 議会経済建設委員会
- 10日 議会総務民生委員会
議員懇話会
- 12日 議会運営委員会
スキー場安全祈願祭
- 18日 議会定例会(～19日)

24日 農業委員会総会

◆1月10日～2月15日の予定

- 13日 書き初め大会(松里小)
- 15日 婿投げ・すみねり祭り
- 19日 学習参観日(松之山小)
- 22日 リハビリ教室
- 25日 上石杯スキー大会(松代)
- 28日 授業参観(浦田小)
- 8日 松之山スキー競技会

編集室から

▼あけましておめでとうござい
ます。一九九八年の寅年をどの
ようにお迎えでしたか。昨年に
続き今年もまた、雪の少ないお
正月となりました。小雪だと屋
根の雪下ろしの心配もなく嬉し
いのですが、いつもと勝手が違
い何か物足りない気がしました。
▼お正月と言えば初詣。今年は
珍しく元旦早々にお参りを済ま
せました。広報を担当して四回
目のお正月。もう一度、初心に
かえって頑張りたいと思います
ので、「広報まつり」を今
年もよろしく願います。